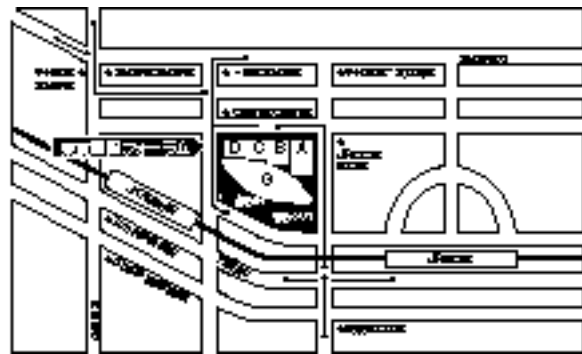


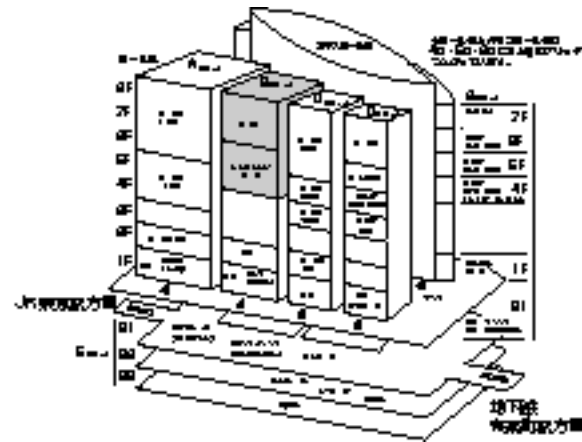
会場へのご案内



A: ホールA B: ホールB・レセプションホール C: ホールC D: ホールD・会議室 G: 会議室・展示ホールロビー

JR線 東京駅より徒歩5分(京葉線東京駅と地下1階コンコースにて連絡)  
有楽町駅より徒歩1分  
地下鉄 有楽町線 有楽町駅と地下1階コンコースにて連絡  
→ 車両導入路

会場案内図



造血幹細胞移植に関するガイドラインについて

最近の造血幹細胞移植は広がりを見せ、その幹細胞の種類や疾患と治療法は一層多様化しています。また、非血縁者間骨髄移植が100以上の認定施設で行われているなど、日本においては多数の施設で少数の移植が実施されています。このような移植の現状の中で、造血幹細胞移植に携わる移植医/医療従事者や一般の医師を対象にして、造血幹細胞移植の適応およびその標準的治療法/支持療法、施設としてのQualityを保つための基準などについて指針 (state of the art) を作成し、造血幹細胞移植の医療技術の向上と普及を図ることが必要となってきました。また、新しい治療法/医療技術を移植の分野に取り入れようとする場合の基本的な考え方の確立や、移植分野での質の高い臨床研究を遂行する全国的基盤を築くことも必要であります。日本造血細胞移植学会では平成9年5月にガイドライン委員会を設け、具体的な検討を始めています。毎年総会ではガイドラインに関するワークショップを開催することになっており、各方面の意見を広くお聞きし、客観的なガイドライン作りが重要であると考えています。学会員の皆様の積極的な参加をお願いいたします。以下にガイドライン委員会において現在検討中または検討予定の項目を示します。

1. 移植医療スタンダード
2. 移植療法の適応
3. さいたい血移植
4. 無菌化
5. CMV
6. GVHD
7. 輸血
8. G-CSF

日本造血細胞移植学会ガイドライン委員会規約平成9年5月

1. 目的: 造血幹細胞移植に携わる移植医、一般の医師を対象とした造血幹細胞移植の適応およびその標準的治療法/支持療法などについて指針 (state of the art) を作成し、造血幹細胞移植の医療技術の向上と普及を図るとともに、この領域での質の高い臨床研究を遂行する全国基盤を築くことを目的とする。
2. 委員会の構成と委員の選出: 委員長1人、委員若干名。委員は理事会で選任され、委員長は委員の互選により決定される。任期は2年とし再任は妨げない。但し3期を超えることはできない。
3. ガイドライン委員会の任務: 1) ガイドライン作成の全体的な指針を定める。2) ガイドラインが必要な事項の選定と各事項毎のガイドライン作成/見直しの基本方針の決定。必要な事項は大きく 細胞治療の適応 細胞移植療法の具体的方法 支持療法に分ける。3) 事項毎にガイドライン作成部会の設置と部会員の選定。4) 作成ガイドラインの評価と決定。5) 作成ガイドラインの公表。
4. ガイドライン作成作業部会の設置: 1) 部会員5名前後で構成される(ガイドライン委員会委員1名以上を含む)。2) ガイドライン案作成の実務にあたる。
5. ガイドライン作成の手順: 1) ガイドライン委員会による部会の設置。2) 部会によるガイドライン案の作成。3) 学会役員へのアンケートなど。4) ガイドライン委員会で決定。5) 理事会の承認。6) 承認されたガイドラインの公表 (関連学会での発表および学会誌などで)

(ガイドライン委員会委員: 森島泰雄(委員長) 秋山秀樹、岡本真一郎、小嶋勢二、権藤久司、高橋恒夫、森下剛久、矢部普正) 以上  
(文責: 森島泰雄)

# JSHCT Letter No.2

The Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation  
日本造血細胞移植学会 December 1997

発行: 日本造血細胞移植学会 〒466 名古屋市昭和区鶴舞町65番地名古屋大学医学部第一内科内 TEL (052) 744-2146 FAX (052) 744-2161  
発行者: 齋藤 英彦 編集責任: 日本造血細胞移植学会ニューズレター編集委員会 印刷: 株式会社セントラルコンベンションサービス 年2回発行: 1997年12月発行

## 第20回日本造血細胞移植学会総会開催のお知らせ

第20回日本造血細胞移植学会総会は慶応義塾大学血液内科池田康夫会長の下、そのテーマを「21世紀の細胞治療への力の結果-新しい医療体制を目指して-」とし、参加される方々が自由に活発に討論して頂けるように企画致しました。

### 本学会の特色

- (1) 学会初日の朝には多様化する細胞治療を、造血幹細胞移植を主として免疫担当細胞を用いた治療の両面から、初心者の方にもわかり易く概説する教育講演 (morning seminar) を2つ企画しました。朝食の用意もありますので是非御参加下さい。
- (2) 細胞治療という体の構成成分を利用する新しい治療概念の評価、普及の為に新しい医療体制を作ることは不可欠です。この点に焦点をあてた今までとは少し違った趣向のSymposiumを企画しました。参加者全員が建設的な意見を出し合い、その方向性が明らかになることを期待したいと思います。
- (3) 細胞治療は将来に向けて多くの可能性を持った治療法ですが、すべての症例で成功する訳ではありません。現在まで移植不成功例のquality of lifeについてはあまり検討されてこなかったと思いますが、多くの細胞治療の臨床研究が進む中で、この問題についてもきちんと取り組む必要があると考えます。そこで今回は「移植不成功例、再発例のケア」を考えるシンポジウムを企画しました。全員の経験を共有し、より良いケアの方向が得られればと思います。
- (4) 今回は外国より3人のinvited speakersを招待し、各々が細胞移植の中で専門とするテーマについて講演をお願いしました。Dr.P.J.MartinはGVHDに関する臨床研究のあり方について、Dr.L.KanzはPBSCTを用いた将来の細胞治療について、Dr.F.Hsuは非ホジキンリンパ腫における免疫療法について話して下さる予定です。
- (5) 細胞治療は理想的なチーム医療として育ってきたと思います。その中でもNursingはこの医療を支える不可欠なものです。そこで、Fred Hutchinson Cancer Research Centerより移植患者のCritical careを専門とするMs.Juanita Madisonに講演をお願いしました。米国での最新のnursingについての情報が得られると思います。同時通訳も用意しておりますのでNurseの方々是非多数御参加下さい。
- (6) 12月19日早朝には昨年に続いて今年も造血細胞移植に関するガイドラインのワークショップを行います。今回は移植適応、CMV感染症、GVHDをテーマとして選択しました。ガイドラインのあり方も含めて活発な討論をお願いします。
- (7) 今年は阪大微研の仲野徹先生に「造血システムの発生と分化」というテーマで特別講演をお願いしました。
- (8) 2日目の最後のsessionは、シンポジウム「細胞治療の最前線」です。Dr.Martin、Dr.Hsuに加えて、我が国からは河上裕先生、中畑龍俊先生に加わって頂き多岐にわたる細胞治療の最先端の研究と将来の方向性について3時間のexcitingな発表とhotな討論をお願いしました。皆様も是非最後まで参加され、21世紀の細胞治療にむけて活発な討論を通してその力を結集して頂きたいと思ひます。

### 第20回日本造血細胞移植学会総会

平成9年12月18日・19日  
会長 池田 康夫 (慶應義塾大学)  
連絡先 〒150 東京都渋谷区広尾2-9-25 エルビーエス  
TEL 03-3407-4338, FAX 03-3407-4348

第20回日本造血細胞移植学会総会日程

18 THU	ホールB		レセプションホール
	第1会場	第2会場	
7:45	スライド受付	スライド受付	参加受付開始
8:15	モーニングセミナー [三共][キリンビール]		ポスターI 1) 幹細胞移植、造血幹細胞増殖 2) 肺移植 3) 肺移植バンク、骨髄バンク 4) 閉鎖PBSCT 5) 自閉PBSCT/EMT 6) 移植片対宿主病 (GVHD) 7) 移植免疫療法、移植、生体不全 8) GVL/CLT移植免疫療法  掲示 9:00~9:00 展示 9:00~11:00 討論 11:00~12:30 撤去 12:00~13:45
9:00	I. 堀原信太郎(金沢大学) 座長 柴田弘俊 開会挨拶 口演I 造血幹細胞移植・再生I 0-1~0-4 座長 小池健一 0-5~0-7 座長 岡村 純 0-8~0-10 座長 渡島寛隆	I. 品川克彦(岡山大学) 座長 加藤俊一 口演II 造血幹細胞移植・再生II 0-11~0-14 座長 新井 広 0-15~0-17 座長 新井 聡 0-18~0-20 座長 今村和彦	
11:00			
12:30	ランチョンセミナーI 【協和発酵工業】 平井久丸 (東京大学) 座長 外山圭助	ランチョンセミナーI 【日本グラクソ】 山口孝三 (東洋大学) 座長 松田 保	
13:30	休息	休息	ポスターII 掲示 13:00~15:30
13:45	シンポジウムI 我が国の国際移植と 造血幹細胞移植医療 池上直己 丹羽隆哉 藤村久司 小村 仁 座長 渡野茂隆・池田康夫	シンポジウムII 移植不成功例・移植後再発例 のケア 藤原尚志 井上裕美 黒澤真由 大野 裕 浅川美智 森本明子 座長 土肥博隆・近藤英子	
15:15	休息	休息	造血細胞移植看護 ネットワーク総会 座長 尾上裕子 鈴木光子  招待講演/ ppt配布 【スミスクライン・ピーチ&ム製薬】  Juanita Madson Fred Hutchinson C.R.C.) 座長 長尾 大
15:30	招待講演【中外製薬】 I. Paul J.Martin (Fred Hutchinson C.R.C.) 座長 小寺良尚  II. Lothar Kanz (Univ.ofTübingen) 座長 原 志		
16:30	II. Frank J. Hsu (Yale Univ.) 座長 仁保富之		
17:30			シンポジウムII [キリンビール] 細胞治療の最新動向  中川隆俊 (TM.S.Univ.Tokyo) Paul J.Martin (Fred Hutchinson C.R.C.) 河上 裕 (Keio Univ.) Frank J.Hsu (Yale Univ.)  座長 中川隆俊 珠玖 洋
18:30			
19:00	総会 19:00~	東京書籍「ローズルーム」にて	

19 FRI	ホールB		レセプションホール
	第1会場	第2会場	
7:45	スライド受付	スライド受付	参加受付開始
8:15	ワークショップ 造血幹細胞移植のガイドライン 小島隆二 矢野謙正 秋山秀樹 横野久司 森下 隆俊 座長 森下 隆俊 岡本一朗	口演III 移植看護 〇-21~〇-25 座長 加藤 孝典子 〇-26~〇-29 座長 五十嵐美子	ポスターI 1) 移植片対宿主病(急性、慢性) 2) 移植片対宿主病(慢性、二次性) 3) 移植片対宿主病(肺病変I) 4) 移植片対宿主病(肺病変II,その他) 5) 移植片対宿主病(白血病) 6) 移植片対宿主病(リンパ腫、骨髄腫) 7) 移植片対宿主病(脳腫瘍) 8) 移植片対宿主病(再生不良性貧血、 骨髄異形性造血症) 9) 移植片対宿主病(急性、慢性、先天性) 10) 移植片対宿主病(MPD、検査)  掲示 9:00~9:30 展示 9:30~9:45 討論 9:45~12:00 撤去 12:00~12:30
9:45			
12:00	ランチョンセミナーII [新沢食品工業] 正田 徹(大阪府立成人病センター) 座長 斎藤英彦		ポスターII 移植看護 1) 移植片対宿主病、リハビリテーション 2) GVL、移植的ケア 3) マニュアル、手帳 4) 薬剤師の役割 5) ドナーの管理、その他 6) 検査室、検査管理  掲示 12:30~14:00 展示 14:00~15:00 討論 15:00~16:30 撤去 16:30~17:00
13:00	総会 会長報告 池田康夫 座長 原田英規		
13:20	特別講演 仲野 徹(大阪大学) 座長 高久光彦		
14:00	休息		
15:00	休息		
15:15	シンポジウムII [キリンビール] 細胞治療の最新動向  中川隆俊 (TM.S.Univ.Tokyo) Paul J.Martin (Fred Hutchinson C.R.C.) 河上 裕 (Keio Univ.) Frank J.Hsu (Yale Univ.)  座長 中川隆俊 珠玖 洋		
18:15	開会挨拶		